

農業から未来を考える 週末開講の農業スクール



募集要項

2021年春季新入生用

1. 目次

1. 目次	P. 1
2. 概要・募集コース	P. 2
3. 募集要項 農学部基礎課程	P. 3
4. 募集要項 オンライン通信コース	P. 4
5. 通学スケジュール	P. 5
6. シラバス	P. 6 - 10
7. 開講日程表	P. 11 - 13
8. 出願方法	P. 14
9. 学費サポート・補助制度	P. 15
10. 教育訓練給付制度について	P. 16
11. 開講場所	P. 17
12. 受講規約	P. 18 - 22

アグリイノベーション大学校について

新しい生き方、暮らし方を見つけよう。

農業から未来を考える、週末開講の農業スクール「アグリイノベーション大学校」。

仕事を続けながら週末で農業を学びたい方に向けた、農業技術と経営を体系的に学ぶことができるオリジナルのカリキュラムが特徴です。

農業分野においてご自身の適性・適職を見極めたい方、地域農業の担い手となり地域リーダーを目指したい方、移住や田舎暮らしの準備として「農」を起点とした豊かな生き方・暮らし方にシフトしたいとお考えの方、今のライフスタイルを変えずに週末農業からのチャレンジをお考えの方、農業分野での新規事業を担当される方など、多様な受講生が毎年学んでいます。

【個人情報の取り扱い】

アグリイノベーション大学校を運営する株式会社マイファーム(以下「弊社」)は、事業に関わる全ての皆様に安心と信頼を頂けるよう、本校業務において、皆様の大切な個人情報を保護することが、継続的な事業活動の基本であると共に、重要な社会的責務であると認識し、今後も引き続き個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。

2. 概要・募集コース

1) アグリイノベーション大学校 農学部 基礎課程

アグリイノベーション大学校農学部基礎課程は、農業の技術と経営を総合的に学ぶ、本校のメインカリキュラムである「アグリスタンダードコース」をはじめ、さらに学びを高めたい方向けの「アグリビジネスコース」、技術のみを学びたい方向けの「アグリチャレンジコース」の3つのコースをご用意しています。

また、下記コースのいずれかを履修された方は卒業後の発展課程（選択科目）※を受講頂くことも可能です。

農学部 基礎課程 コース名	プログラム					募集期間	入学時期
	農業 技術		農業 経営	オンラ インサ ロン	ゼミ		
	実習	座学	座学				
アグリスタンダードコース	○	○	○	○	×	2021年2月末 まで	年2回 春季 3月開講 秋季10月開講
アグリビジネスコース	○	○	○	○	○		
アグリチャレンジコース	○	○	×	×	×	秋季募集なし 春季のみ募集	年1回 春季 3月開講

※発展課程においては、有機農業をさらに専門的に学ぶことができるオーガニック学科、また小さい規模から農業を始める自産自消学科などをご用意しています。コース内容については、入学後に別途ご案内致します。

2) アグリイノベーション大学校 オンライン通信コース

オンライン通信コースは、農業の技術と経営の座学講義をオンラインで学ぶプログラムです。アグリイノベーション大学校農学部基礎課程の座学講義の動画をオンラインにて受講いただけます。

仕事や育児などで週末の通学が難しい方、既に就農されている方、遠方で通学が難しい方などにオススメのコースです。

オンライン通信 コース名	プログラム				募集期間	入学時期	
	農業 技術		農業 経営	オンラ インサ ロン			ゼミ
	実習	座学	座学				
技術・経営コース	オプ ション 受講可	○	○	×	×	随時募集	年2回 春季 3月開講 秋季10月開講
技術コース	オプ ション 受講可	○	×				
経営コース	×	×	○				

3. 募集要項 農学部 基礎課程

出願資格		アグリイノベーション大学校のプログラムは、どなたでも申し込み可能です。 ※未成年の方は、申し込みの時点で保護者の方の同意が必要となります。
定員		関東校：スタンダード：42名 ビジネス：10名 チャレンジ：10名 関西校：スタンダード：20名 ビジネス：10名 チャレンジ：10名
受講期間		12カ月（2021年3月入学～2022年2月修了）
講義一覧	概要	< 概要 > ・土曜日または日曜日に開講（1講義2時間、農場実習は1講義3時間の講義） ・総受講時間 132 時間（週1日程度）
	農場実習	<農場実習> 20コマ / 60 時間 ※うち2コマ：講師農場視察DAY、4コマ：研修DAY 9:30～12:30 講義 / 14:00～ 演習（任意参加） 関東校：横浜農場、千葉農場、埼玉農場から1つ所属農場を選択 関西校：大阪農場、京都農場から1つ所属農場を選択
	技術座学	<座学講義> 18コマ / 36 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20 関東校・関西校ともにオンライン開催
	経営座学	<座学講義> 16コマ / 32 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20 関東校・関西校ともにオンライン開催
	その他	<特別講義> 2 コマ / 4 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20
日本農業技術検定2級受験料 （任意）		受験料 4,190円（税込） ※日本農業技術検定2級 受験料は受験の際に別途お支払いいただきます。
学費	アグリスタンダード コース	計：691,300円（税別） 内訳 受講料：658,000円/入学金：30,000円/教科書代：3,300円
	アグリビジネス コース	計：841,300円（税別） 内訳 受講料：808,000円/入学金：30,000円/教科書代：3,300円
	アグリチャレンジ コース	計：443,300円（税別） 内訳 受講料：410,000円/入学金：30,000円/教科書代：3,300円

※日本農業技術検定の試験は例年7月及び12月に開催されます。今季ご入学の方は、2021年12月に2級受験を目安とし、本校の受講期間中に2級に合格いただくことを推奨しています。

※募集定員は年度途中に変更する場合があります。詳細は本校ホームページでご確認ください。

※教育訓練給付制度の申請について、日本農業技術検定2級合格（受講年度内7月または12月に限る）および全講義3分の2の出席が修了認定要件に含まれます。

※選択する農場によってスケジュールが異なります。詳細は要項P11-13の「7. 開講日程表」をご確認ください。

※講義会場までの往復交通費については各自の負担となります。

※受講ツール使用の際は、スマートフォンまたは、PCやタブレット端末が必要となります。

※夏季の農場実習の受講期間はサマータイム制を導入する場合があります。

※農場の情報については要項P17の「11. 開講場所」をご参照ください。

4. 募集要項 オンライン通信コース

出願資格		アグリイノベーション大学校のプログラムは、どなたでも申し込み可能です。 ※未成年の方は、申し込みの時点で保護者の方の同意が必要となります。
定員		定員なし
受講期間		随時受講開始可
講義時間 (配信時間)	技術・経営 コース	日曜日のみ開講（1コマ2時間） 〈座学講義〉 36 コマ／72 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20 (農業技術 18コマ／ 36時間 農業経営 16コマ／ 32 時間) 〈特別講義〉 2 コマ／4 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20
	技術コース	日曜日のみ開講（1コマ2時間） 〈座学講義〉 18コマ／36 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20 〈特別講義〉 2 コマ／4 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20
	経営コース	日曜日のみ開講（1コマ2時間） 〈座学講義〉 16コマ／32 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20 〈特別講義〉 2 コマ／4 時間 13:00 ～ 15:00 / 15:20 ～ 17:20
学費	技術・経営 コース	計：375,300円（税別） 内訳 受講料：342,000円/入学金：30,000円/教科書代：3,300円
	技術コース	計：193,300円（税別） 内訳 受講料：160,000円/入学金：30,000円/教科書代：3,300円
	経営コース	計：215,300円（税別） 内訳 受講料：182,000円/入学金：30,000円/教科書代：3,300円
オプション受講 (農場実習)		追加受講料 250,000円（税別） 畑での実践を通じて、学びを深めたい方に向けてのオプションです。 〈農場実習〉 20コマ／ 60 時間 ※うち2コマ：講師農場視察DAY、4コマ：研修DAY 9:30～12:30 講義／14:00～ 演習（任意参加） 関東校：横浜農場、千葉農場、埼玉農場から 1 つ所属農場を選択 関西校：大阪農場、京都農場から 1 つ所属農場を選択

※オプション受講の農場実習は、各農場は定員となり次第、受付終了となります。
 ※経営コース（オンライン受講）は農場実習のオプションは選択いただけませんのでご注意ください。
 ※選択する農場によってスケジュールが異なります。詳細は要項P11-13の「7. 開講日程表」をご確認ください。
 ※農場の情報については要項P17の「11. 開講場所」をご参照ください。

5. 通学スケジュール

農学部基礎課程 農場実習

講義内容	開始	終了	受講スケジュール
実習講義	9:30	12:30	農場 実習（畑での講義）
休憩	12:30	14:00	お昼休憩
演習（課外・任意）	14:00	16:30	演習（任意参加） 午後も農場を開放しておりますので、 スタッフと共に農作業に参加することが可能です。 ※季節や気候、畑の状態により終了時間が異なります。 自由にご参加ください。

春からはじまる農場実習に向けて、講義日午後の農場演習や農場オープンDAYなどに積極的にご参加されることを推奨しています。

農場オープンDAYとは、講義日以外で実習農場に来て頂ける日となります。農場長やスタッフ、先輩受講生や卒業生と一緒に農作業を行っていただけます。（講師はおりません）

農学部基礎課程 座学講義（オンライン配信）

講義内容	開始	終了	受講スケジュール
入室（受付）	12:45	—	講義スタンバイ
座学講義（技術／経営）	13:00	15:00	座学講義 1 コマ目 （ライブ配信）
休憩	15:00	15:20	休憩
座学講義（技術／経営）	15:20	17:20	座学講義 2 コマ目 （ライブ配信）

3月からはじまる座学講義は、2020年秋季生と一緒に受講します。先輩・後輩の繋がりもございます。

講義のない週末は、農業に触れる時間を増やすことを推奨しています。学校の農場はもちろん、卒業生の畑のお手伝いや、農業イベント・セミナーにご参加ください。

6. シラバス

有機農業の原理原則を軸に、農業技術の基礎から応用、就農を目指すにあたっての基礎知識、生産・流通・販売・その他アグリビジネスといった農業経営に関する学びを体系的に習得するカリキュラムです。



広い面積の畑で本格的な農業を学びます。有機農法で栽培方法を学べる野菜は年間**約40種類**。



就農を想定し、**広い面積の農場**での規模や生産量を体感できます。また、生産農場として販売まで行っています。

技術力

農業技術座学と農場実習を通して、理論と実践を繰り返し学びます。全てに応用ができる原理原則を身につけることで考える力と気づく力を養いましょう。畑で起こっている事象を観察し、理解し、考えることこそ自然と生きるということです。

アグリスタンダードコース

アグリビジネスコース

アグリチャレンジコース

オンライン通信 技術・経営コース

オンライン通信 技術コース

経営力

農業経営座学を通して、農業を仕事にするために必要なコンテンツをトップランナーから網羅的に学びます。農業のバリューチェーンを理解し、様々な可能性を探り、自分自身の未来へと役立てましょう。

アグリスタンダードコース

アグリビジネスコース

オンライン通信 技術・経営コース

オンライン通信 経営コース

仲間

オンラインサロンを通して提供するの、農業というキーワードで繋がった縦と横の仲間たちです。20～60代までの多様なバックグラウンドと夢を持つ人材が一堂に会する機会は人生でもここだけかも知れません。同期・卒業生・講師と一緒に未来についてたくさん語り合しましょう。

アグリスタンダードコース

アグリビジネスコース

ゼミを通して生み出すのは自分自身の未来計画です。トップ講師からの指導、高い志を持つ同期からのコメントを定期的に受け止め、アウトプットし続ける1年間は確実に卒業後の力になります。一緒に遠くへいきましょう。

アグリビジネスコース

農 業 技 術 座 学 ・ 実 習

農業には、原理原則があります。アグリイノベーション大学校では、畑で考えて試行するための土台の知識を「原理原則」と呼んでいます。「野菜のつくり方」ではなく、現場で生きる「技術力」を身に付けるために必要な、植物の構造や自然のしくみを学びます。

目標	学びのキーワード	技術座学名	農場実習名	実習内容
理論と実践から、 原理原則を学ぶ。 原理原則とは、表面的な知識ではなく、「畑で考え、試行するための土台の知識」である。 土壌や環境条件は異なるものの、どんな農法を選んでも、日本の国外に出ても、自然の仕組みは同じであることを理解する。	エネルギー循環・栽培学の基本・植物生理・光合成と代謝・植物のからだ・植物と水・呼吸	農業技術 1 栽培学①～導入～	農場実習 1	作物の播種、 植付／農機具の使い方／施肥と耕運／土壌診断／農業資材／春夏野菜の栽培管理／緑肥の活用／収穫と出荷調整／値付け／農業機械／外部環境対策／プロ農家視察
		農業技術 2 植物生理学	農場実習 2	
	土とは・土を知る・土の保全と農業生産・土壌の性質・土壌の三要素・物理性改善・土壌微生物・緑肥・土壌改良	農業技術 3 土壌学基礎①	農場実習 3	
		農業技術 4 土壌学基礎②	農場実習 4	
	植物の養分吸収・有機物を入れる意義・様々な元素・養分欠乏・肥料分類と性質・発酵肥料と施肥技術・堆肥	農業技術 5 植物栄養学	農場実習 5	
		農業技術 6 肥料学	農場実習 6	
	病害虫管理・雑草防除・ただの虫と害虫・病害虫の生態・生理障害	農業技術 7 植物保護学	農場実習 7	
		農業技術 8 植物保護学	農場実習 8	
	農薬の基本と種類・収穫後管理・各種農業資材・有機JASにおける資材活用・太陽熱処理	農業技術 9 農薬・ポストハーベスト学	農場実習 9	
		農業技術 10 栽培学②～農業資材～	農場実習 10	
			農場実習 11	
自ら考え、 基礎から応用へ。 座学で学んだ知識を活かし、現場の状況から仮説を立て畑で実践してみる。 講師である生産者の畑のマネジメントを通じて、正解がない農業において、どのように判断を行っているのかを体感して学ぶ。	植物ホルモン・樹形と仕立・草生栽培 ※実習現場では果樹を学ばない	農業技術 11 果樹概論	※卒業後に果樹栽培や稲作栽培、植物育種に関わる人もいることを想定し、実習現場では準備できておりませんが、技術座学では専門家をお呼びして知識を身に付けて頂くためにご用意いたしました。	
	稲栽培技術・稲の一生・収量構成要素 ※実習現場では稲作を学ばない農場有	農業技術 12 稲作概論		
	自家採取・育種・選抜 ※実習現場では植物の繁殖や改良せず	農業技術 13 植物育種繁殖学		
	育土・緑肥・緑肥を活用した育土・連作・事例から学ぶ・育苗・施設栽培	農業技術 14 栽培学③～育土・緑肥～	農場実習 12	土作り、土壌改良／作物の播種、植付／施肥と耕運／農業資材／秋冬野菜の栽培管理／農業機械／害虫、病気の対策／緑肥の活用／収穫と出荷調整／台風対策／プロ農家視察
			農場実習 13	
			農場実習 14	
		農業技術 15 施設園芸学	農場実習 15	
			農場実習 16	
	土壌学の振り返り、冬の土作り、土壌分析、施肥設計	農業技術 16 土壌学応用	農場実習 17	
			農場実習 18	
	特別講義	特別講義	※習熟度が高まる中で、入学当初は理解が難しかった高レベルの特別講義を外部講師から学びます。	
作付計画・品種・畑のローテーション・生産管理・販売管理	農業技術 17栽培学④～作付計画～	農場実習 19	作付計画	
総括・修了テスト	農業技術 18 総括・修了テスト	農場実習 20		

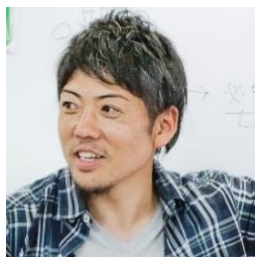
※カリキュラムは定期的に見直されるため、やむを得ず、内容等の変更の可能性があります。

農業技術 実習&座学講師

農業界で第一線で活躍する農業家や経営者を顧問・講師として、質の高い実習・講義を提供しています。

千葉康伸 Yasunobu Chiba

担当：農場実習（横浜農場）


NO-RA ～農楽～ 代表

高知県で2年間有機農業研修を経て、2010年に神奈川県愛川町にて新規就農。「有機農業参入促進協議会」の副代表や「次代の農と食をつくる会」の理事を務める。また、「平成29年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」にて有機農業・環境保全型農業部門 個別経営の部「関東農政局長賞」受賞。
現在は、研修生3名と共に耕作面積3ha（露地）、年間50種類の野菜を栽培。決して自然とケンカせず、協調する事が農業の醍醐味と語る。

柴海祐也 Yuya Shibakai

担当：農場実習（千葉農場）


柴海農園 代表

柴海農園16代目。年間100種類程のやさいを栽培し、顧客の要望ごとに組み合わせたやさいセットを通年で出荷。個人客200件、飲食店40軒、百貨店や小売店など10店舗と取引をしている。旬のやさいを使ったカラフルなピクルス、砂糖を使わない甘粧ジャム、レストランで食べるようなサラダが簡単に自宅で作れるサラダセットなどを商品化。「農とつながるすべての人を笑顔に」を理念にスタッフ18名と日々農業に没頭している。

榎本健司 Kenji Enomoto

担当：農場実習（埼玉農場）


榎本農園 代表

農学系の大学を卒業後、市役所の農業技術職として13年勤務。退職後に施設ハウスでのトマト栽培を主に就農し、同時に農園レストランの経営を開始。市役所勤務時代に得た、農業の技術・政策・法律知識をフルに生かし、トマトでは最先端の技術導入の先駆者である。年150種類ほどの野菜とお米を生産。「生産+α」を経営指針とし、飲食・加工・教育・体験事業を行なっている。

梁守壮太 Sota Yanamori

担当：農場実習（京都農場）


やなもり農園 代表

野菜の味を消費者に理解してもらうため、各野菜に合わせた肥料施工や輪作による土作りなど、既成の農業の枠を飛び越え梁守農法を駆使し、野菜の本当のうま味を引き出す研究と野菜作りに取り組む。現在は、店舗プロデュースや農業講師、ディベロッパーと組んで屋上緑化のプロジェクトにも参加するなど、多岐にわたって活躍中。生産者のみに留まらず、独自のポジションを築く。

木村俊太 Shunta Kimura

担当：農場実習（大阪農場）


たねまき農園 代表

横浜生まれ横浜育ち。『農』の道に進みたいと思い高校・大学と『農学』を学ぶ。海外での1年間の農場勤務を経て、2005年岐阜県恵那市にて新規就農した。20年以上放置された元桑畑を開墾し、農園を開く。地域の中だけで手に入る資源を使い農薬・化学肥料を使わない循環型の農業を実践している。現在は、認定農業者として4haの畑と水田を耕作している。また、自営と並行して企業での農業指導も行なっている。

石原北斗 Hokuto Ishihara

担当：技術座学


アグリイノベーション大学校 学長

東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術の技術開発・普及に関する研究に関わる。農産物専門商社を経て、マイファーム入社、アグリイノベーション大学校の立ち上げに関わり、農学講義および農場実習講義の講師として新規就農者の育成に取り組む。現在は、原料生薬栽培や産地支援、中国/東南アジアにおける農業生産事業、ソーラーシェアリングなど、生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括している。

西山雄太 Yuta Nishiyama

担当：技術座学（土壌学）


リビングソイル研究所 代表

格闘技をしていた学生時代の体づくりの経験から、食と体の結びつきを実感し、食や栄養に関心を抱く。大学卒業後、食に関わる企業に入社。退社後は海外を旅し、各国の食や食習慣などに興味を持つ。帰国後は食の根本である「農」に着目、NPOで農作物の流通にたずさわりながら、自身で作物の栽培を開始。その後、オーストラリアへ渡り、有機農業の現場や農場、研究機関、学校などで学ぶ。帰国後、農業の現場だけでなく公園や家庭などでも土の管理がおこなわれていないことを知り、土の再生に取り組む「リビングソイル研究所」を設立。土の再生による農業の現場や住環境の改善等、社会問題の解決に取り組んでいる。

橋本 力男 Rikio Hashimoto

担当：技術座学（土壌学）

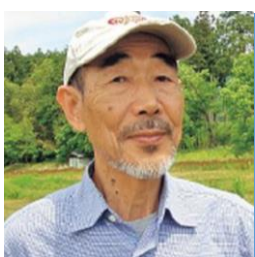

堆肥・育土研究所 所長 & 有機農業者

現在 有機花・堆肥の製造販売・三重大学非常勤講師、三重県農業大学校講師、日本農業経営大学校講師
NPO 有機農業参入促進協議会理事・日本オーガニックフラワー協会理事長

著書に『畑でおいしい水をつくる一自家製有機堆肥のすすめ』（北星社）、『野菜が甘く育つ土づくり Part2』（学習研究社）などがある。

木嶋 利男 Toshio Kijima

担当：特別講義


伝統農法文化研究所代表

1948年生まれ。農学博士(東京大学)。栃木県農業試験場生物工学部長、自然農法大学校長、(財)環境科学総合研究所長などを経て、現在は伝統農法文化研究所代表、(公財)農業・環境・健康研究所理事。有機農業・伝承農法などの研究・実証を行っている。
著書に『伝承農法を活かす 家庭菜園の科学』、『「育つ土」を作る 家庭菜園の科学』（講談社ブルーバックス）、『農業に頼らない家庭菜園コンパニオンプランツ』（家の光）など多数。

※講師及び講師の担当テーマは変更になる場合があります。

農 業 経 営 座 学

農業経営について、農業界の常識から課題、解決手法まで講義を聞きながら考えていきます。講師の実体験に基づく理論や思考パターンから、自分事に置き換えて活用していく力を養います。

目標	講義概要	テーマ	学びのキーワード	経営座学名
マクロ的視点から 農業経営を学ぶ。 多様な農業スタイルに視野を広げるとともに、農業を始めるにあたり必要な知識を学ぶ。	農業は一つの形ではなく、様々な選択肢があることを4回の講義を通じて学ぶ。事例を見ることにより、受講生自身が求める農業スタイルのイメージを持つ。	多様な営農スタイル①	有機多品目・露地単一	農業経営 1
			施設栽培・六次化	農業経営 2
	就農に際して必要不可欠な知識を学ぶ。就農に必要な申請や農地の取得にかかる知識、また実際に就農してからの流通の基礎的な知識を学ぶ。	就農に必要な知識	農地法	農業経営 3
			農業界における流通	農業経営 4
	就農した際に必要となる事項から、コスト計算を学ぶ。さらに収益化に必要な生産管理の基礎を学ぶ。	農業経営と生産管理の基礎	経営のコスト構造	農業経営 5
			生産管理 IOT	農業経営 6
	農業は一つの形ではなく、様々な選択肢があることを4回の講義を通じて学ぶ。事例を見ることにより、受講生自身が求める農業スタイル。	多様な営農スタイル②	パイヤー・農家と消費者つなぐ	農業経営 7
			総括	農業経営 8
ミクロ的視点から 農業経営を学ぶ。 農業経営にあたり、実務として必要となる事項や業界の最新情報を学ぶ。	収益を確保する農業経営を学ぶ上で必要な視点や学ぶべき知識を改めて整理し、学びの指標を確認する。	農業経営基礎	農業経営概論 1	農業経営 9
			農業経営概論 2	農業経営 10
	就農者への国や自治体の補助金など支援制度を学び、実際に事業を始めた際に利用できるサポートを学ぶとともに、市場における商品展開に必要な認証制度を学ぶ。	農業に必要な法知識	農水省 就農支援	農業経営 11
			世界の潮流と認証制度	農業経営 12
	生産した商品をどのように、誰に対していくらで売っていくのか。農業界のトレンドを押さえながら、販売計画に必要な知識と視点を学ぶとともに様々な農業ビジネスとの関わりを学ぶ。	販売戦略	アグリビジネスとマーケティング1	農業経営 13
			アグリビジネスとマーケティング2	農業経営 14
	農業界で起きている課題を解決する新たな戦略など、新しい農業の在り方を生み出しているイノベーションの先進事例を学び、今後さらに広がる農業の可能性を学ぶ。	農業イノベーション論	農福連携	農業経営 15
			総括	農業経営 16

農業経営 座学講師

農業界で第一線で活躍する農業家や経営者を顧問・講師として、質の高い講義を提供しています。

西辻一真 Kazuma Nishitsujira


**アグリイノベーション大学校 初代学長
株式会社マイファーム 代表取締役**
1982年福井県生まれ、2006年京都大学農学部資源生物科学科卒業。大学を卒業後、1年間の社会人経験を経て、幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたい！という思いから、「自産自消」の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。その後、体験農園、農業学校、流通販売、農家レストラン、農産物生産など、独自の観点から農業の多面的機能を活かした種々の事業を立ち上げる。2010年農林水産省政策審議委員就任。2016年総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞。

浪越隆雅 Takamasa Namikoshi


株式会社マイファーム 専務取締役
1984年香川県生まれ
2011年マイファームに参画
マイファームの各事業の立ち上げに寄与しつつ、その経験を活かしながら国内外の企業や行政を対象とした農業アドバイザー業務に幅広く携わる。2018年マイファーム中国法人、上海吾亦农业发展有限公司 董事長に就任。
将来の夢は、世界の農に新しい常識をもたらす事。

生駒祐一 Yuichi Ikoma


テラスマイル株式会社 代表取締役
1977年東京都生まれ。2010年にビジネススクールでMBAを修了した後、単身で九州に渡り、農業参入した農業法人の立上げと運営に携わる。2年で黒字化する仕組みを構築した。その後2014年に独立しテラスマイルを創業。宮崎県委嘱のアドバイザーとして様々な農畜産物のデータ化プロジェクトに携わる。その経験をもとに、農業データの分析に特化したクラウドシステム「RightARM」を2018年にリリースした。今年は、AI出荷予測、ドローンによる画像解析、自動トラクターなどの先端技術データ分析も行っている。(株)エムスクエア・ラボと(株)マイファームが出資。2019年より本社を児湯郡新富町に移転。宮崎県農業経営指導士・総務省 地域情報化アドバイザーを委嘱。企業理念は「楽しく働く街づくり」

上田悠太 Yuta Ueda


株式会社マイファーム
1986年熊本県生まれ、岡山大学農学部卒。
JA勤務を経て、株式会社マイファームへ入社。
JA勤務時に得た知識、問題意識をもとに農地関係を担当。
幅広い案件と農業をつなげる営業を担当している

折笠俊輔 Shunsuke Orikasa


**公益財団法人 流通経済研究所
農業・地域振興研究開発室 室長**
福島県郡山市出身。早稲田大学商学部卒業、筑波大学大学院ビジネス科学研究科修士課程修了。精密機器メーカー（営業職）を経て、2010年より現職。日本農業経営大学校 非常勤講師（マーケティング・営業戦略）小売業の購買履歴データ分析、農産物の流通・マーケティング、地域ブランド構築、買付困難者対策、地域流通といった領域を中心に、理論と現場の両方の視点から研究活動・コンサルティングに従事。

高橋 勉 Tsutomu Takahashi


**特定非営利活動法人 JONA
（日本オーガニックフーズ&ナチュラル協会）**
1967年埼玉県生まれ。2000年よりJONAで勤務開始、世界中の有機農場をめぐる。2011年JONA理事長に就任。「自然と融和した生活」を夢見て、風土に根差したオーガニックライフの普及を目指す。2018年から、有機農業の日(12月8日)事務局局長に就任した。
JONA公式ホームページ
<http://www.jona-japan.org/>

高津佐和宏 Kazuhiro Kotsusa


**農家から経営の不安を解消するパートナー型コンサルティング
アグリビジネスパートナー**
宮崎県内の農業高校、大学農学部を卒業。2003年にJA宮崎経済連に入会。入会後3年間は農業機械部門配属。園芸マーケティング、加工業務用野菜、県外営業所勤務を経て、2011年冷凍野菜を製造販売する子会社立ち上げに抜擢される。配属直後は会社設立と借入、工場建設等の準備、稼働後は営業担当課長として10億円の売り上げ達成に奔走する。売上10億円は4年で達成。達成後、製造部門の課長職として、工場内の改善活動や社員教育を通じて、収益率の高い会社で育て上げる。その後、新規にカット野菜事業を立ち上げ、3年で4億円の売り上げと黒字化を達成。達成後、2018年3月末にJA宮崎経済連を卒業。2018年4月より独立起業。

原田佑嗣 Yuji Harada


公認会計士 & 税理士
1981年京都市生まれ。会計士二次試験合格後、監査法人トーマツの入社。農業を手掛ける上場会社の監査を担当し、農業をビジネスとして続ける難しさに直面する。2013年の独立後は、主に税務顧問として関西一円の数多くの農家を担当する傍ら、全国各地の自治体などで財務や経営に関する講義も担当する。新規就農者が恵まれた条件下で就農できる環境を整備する必要性を説き、逆手の発想で離農者支援にも力を入れたいと意気込む。

佐川友彦 Tomohiko Sagawa


**ファームサイド株式会社 代表取締役社長
阿部梨園マネージャー**
1984年生まれ。東京大学農学部、同修士卒。外資メーカーDuPont社の研究開発職を経て、2014年9月より阿部梨園に参画。農家が苦手な経営に関するオフィス機能を担当し、ブランディングや広報、販売など営業面も担う。スマート経営で、直売率99%超を達成。阿部梨園の改善事例300件を公開するクラウドファンディングを実施し、300人以上から約450万円の支援を集める。オンラインメディア「阿部梨園の知恵袋」農家の小さな改善事例300」として無料公開。その後、ファームサイド株式会社を起業。講演活動や経営コンサルティングで、農家の経営体質改善を旗振りしている。2020年9月、ダイヤモンド社より『東大卒、農家の右腕になる。小さな経営改善ノウハウ100』を出版。

黒瀧秀久 Hidehisa Kurotaki

特別顧問



東京農業大学生物産業学部自然資源経営学科教授
H12年 東京農業大学 博士(農業経済学)取得
H12~13年 米国ミシガン州立大学 農業・自然資源学部客員教授
H17年 東京農業大学生物産業学部産業経営学科教授
H18年 中国南京農業大学中華文明発展研究員客員教授(農業史)
H26年 東京農業大学生物産業学部長
現在 東京農業大学生物産業学部自然資源経営学科教授
【過去の委員歴任】北海道総合開発委員会委員/北海道森林審議会委員/日本農業経済学会常務理事/林業経済学会評議員/北海道農業普及学会理事等/全国農学系学部長会議副会長/地域活性化学会理事
【主な著書】『日本の林業と森林環境問題』八潮社(2005)/『弘前藩における山林制度と木材流通構造』北方新社(2005)/『榎本武揚と明治維新-旧幕臣の描いた近代化-』岩波書店(2017)

※講師及び講師の担当テーマは変更になる場合があります。

7. 開講日程表

関東校 日程表

【座学講義】13:00～15:00・15:20～17:20（ライブ配信、後日視聴可）
 【実習】9:30～12:30・14:00～（午後の演習参加は任意）

日付	曜日	講義名	場所
2021年3月	13日 土	農場実習 千葉1	千葉農場
	14日 日	農場実習 横浜1A	横浜農場
	20日 土	農場実習 横浜1B	横浜農場
	20日 土	農場実習 埼玉1	埼玉農場
	21日 日	農業技術 1	オンライン
	21日 日	農業技術 2	オンライン
	27日 土	農場実習 千葉2	千葉農場
	28日 日	農場実習 横浜2A	横浜農場
2021年4月	3日 土	農場実習 横浜2B	横浜農場
	3日 土	農場実習 埼玉2	埼玉農場
	4日 日	農業経営 1	オンライン
	4日 日	農業経営 2	オンライン
	10日 土	農場実習 千葉3	千葉農場
	11日 日	農場実習 横浜3A	横浜農場
	17日 土	農場実習 横浜3B	横浜農場
	17日 土	農場実習 埼玉3	埼玉農場
	18日 日	農業技術 3	オンライン
	18日 日	農業技術 4	オンライン
	24日 土	農場実習 千葉4	千葉農場
	25日 日	農場実習 横浜4A	横浜農場
2021年5月	1日 土	農場実習 横浜4B	横浜農場
	1日 土	農場実習 埼玉4	埼玉農場
	8日 土	農場実習 千葉5	千葉農場
	9日 日	農場実習 横浜5A	横浜農場
	15日 土	農場実習 柴海農園6	柴海農園
	16日 日	農場実習 NO-RA6A5B	NO-RA
	22日 土	農場実習 埼玉6	埼玉農場
	22日 土	農場実習 横浜6B	横浜農場
	23日 日	農業経営 3	オンライン
	23日 日	農業経営 4	オンライン
	29日 土	農場実習 千葉7	千葉農場
	30日 日	農場実習 横浜7A	横浜農場

日付	曜日	講義名	場所
2021年6月	5日 土	農場実習 埼玉7	埼玉農場
	5日 土	農場実習 横浜7B	横浜農場
	6日 日	農業技術 5	オンライン
	6日 日	農業技術 6	オンライン
	12日 土	農場実習 千葉8	千葉農場
	13日 日	農場実習 横浜8A	横浜農場
	19日 土	農場実習 埼玉8	埼玉農場
	19日 土	農場実習 横浜8B	横浜農場
	20日 日	農業経営 5	オンライン
	20日 日	農業経営 6	オンライン
	26日 土	農場実習 千葉9	千葉農場
	27日 日	農場実習 横浜9A	横浜農場
2021年7月	3日 土	農場実習 横浜9B	横浜農場
	3日 土	農場実習 埼玉9	埼玉農場
	4日 日	農業技術 7	オンライン
	4日 日	農業技術 8	オンライン
	10日 土	日本農業技術検定2級	会場
	17日 土	農場実習 千葉10	千葉農場
	18日 日	農場実習 横浜10A	横浜農場
	24日 土	農場実習 埼玉10	埼玉農場
	24日 土	農場実習 横浜10B	横浜農場
	25日 日	農業技術 9	オンライン
	25日 日	農業技術 10	オンライン
	31日 土	農場実習 千葉11	千葉農場
2021年8月	1日 日	農場実習 横浜11A	横浜農場
	7日 土	農場実習 横浜11B	横浜農場
	7日 土	農場実習 埼玉11	埼玉農場
	8日 日	農業技術 11	オンライン
	8日 日	農業技術 12	オンライン
	21日 土	農場実習 横浜12B	横浜農場
	21日 土	農場実習 埼玉12	埼玉農場
	22日 日	農業経営 7	オンライン
	22日 日	農業経営 8	オンライン
	28日 土	農場実習 千葉12	千葉農場
	29日 日	農場実習 横浜12A	横浜農場

日付	曜日	講義名	場所
2021年9月	4日 土	農場実習 横浜13B	横浜農場
	4日 土	農場実習 埼玉13	埼玉農場
	5日 日	農業技術 13	オンライン
	5日 日	農業技術 14	オンライン
	11日 土	農場実習 千葉13	千葉農場
	12日 日	農場実習 横浜13A	横浜農場
	18日 土	農場実習 横浜14B	横浜農場
	18日 土	農場実習 埼玉14	埼玉農場
	25日 土	農場実習 千葉14	千葉農場
	26日 日	農場実習 横浜14A	横浜農場
2021年10月	16日 土	農場実習 柴海農園15	柴海農園
	17日 日	農場実習 NO-RA15AB	NO-RA
	23日 土	農場実習 横浜16B	横浜農場
	23日 土	農場実習 埼玉16	埼玉農場
	24日 日	農業経営 9	オンライン
	24日 日	農業経営 10	オンライン
	30日 土	農場実習 千葉16	千葉農場
	31日 日	農場実習 横浜16A	横浜農場
2021年11月	6日 土	農場実習 横浜17B	横浜農場
	6日 土	農場実習 埼玉17	埼玉農場
	7日 日	農業技術 15	オンライン
	7日 日	農業技術 16	オンライン
	13日 土	農場実習 千葉17	千葉農場
	14日 日	農場実習 横浜17A	横浜農場
	20日 土	農場実習 千葉18	千葉農場
	21日 日	特別講義	オンライン
	28日 日	農業経営 11	オンライン
	28日 日	農業経営 12	オンライン

日付	曜日	講義名	場所
2021年12月	4日 土	農場実習 横浜18B	横浜農場
	4日 土	農場実習 埼玉18	埼玉農場
	5日 日	農場実習 横浜18A	横浜農場
	11日 土	日本農業技術検定2級	会場
	18日 土	農場実習 千葉19	千葉農場
	18日 土	農場実習 埼玉19	埼玉農場
	19日 日	農場実習 横浜19A	横浜農場
	19日 日	農場実習 横浜19B	横浜農場
	26日 日	農業経営 13	オンライン
	26日 日	農業経営 14	オンライン
2022年1月	16日 日	農業経営 15	オンライン
	16日 日	農業経営 16	オンライン
	22日 土	農場実習 千葉20	千葉農場
	23日 日	農場実習 横浜20A	横浜農場
	29日 土	農場実習 横浜20B	横浜農場
	29日 土	農場実習 埼玉20	埼玉農場
	30日 日	農業技術 17	オンライン
	30日 日	農業技術 18	オンライン
2022年2月	5日 土	修了式	未定

※日本農業技術検定の試験日については、開催日時が発表され次第、学校より団体受検日のご案内をさせていただきます。
 ※年間開講カリキュラム・スケジュールは定期的に見直されるため、やむを得ず、変更を行う場合があります。

関西校 日程表

【座学講義】13:00～15:00・15:20～17:20（ライブ配信、後日視聴可）
 【実習】9:30～12:30・14:00～（午後の演習参加は任意）

日付	曜日	講義名	場所
2021年3月	13日 土	農場実習 大阪1	大阪農場
	14日 日	農場実習 京都1	京都農場
	21日 日	農業技術 1	オンライン
	21日 日	農業技術 2	オンライン
	27日 土	農場実習 大阪2	大阪農場
	28日 日	農場実習 京都2	京都農場
2021年4月	4日 日	農業経営 1	オンライン
	4日 日	農業経営 2	オンライン
	10日 土	農場実習 大阪3	大阪農場
	11日 日	農場実習 京都3	京都農場
	18日 日	農業技術 3	オンライン
	18日 日	農業技術 4	オンライン
	26日 土	農場実習 大阪4	大阪農場
	27日 日	農場実習 京都4	京都農場
2021年5月	8日 土	農場実習 大阪5	大阪農場
	9日 日	農場実習 京都5	京都農場
	15日 土	農場実習 大阪6	大阪農場
	16日 日	農場実習 京都6	京都農場
	23日 日	農業経営 3	オンライン
	23日 日	農業経営 4	オンライン
	29日 土	農場実習 大阪7	大阪農場
	30日 日	農場実習 京都7	京都農場
2021年6月	5日 土	農場実習 田植え 8	大阪農場
	6日 日	農業技術 5	オンライン
	6日 日	農業技術 6	オンライン
	20日 日	農業経営 5	オンライン
	20日 日	農業経営 6	オンライン
	26日 土	農場実習 大阪9	大阪農場
	27日 日	農場実習 京都9	京都農場
2021年7月	4日 日	農業技術 7	オンライン
	4日 日	農業技術 8	オンライン
	10日 土	日本農業技術検定2級	未定
	17日 土	農場実習 大阪10	大阪農場
	18日 日	農場実習 京都10	京都農場
	25日 日	農業技術 9	オンライン
	25日 日	農業技術 10	オンライン
	31日 土	農場実習 大阪11	大阪農場

日付	曜日	講義名	場所
2021年8月	1日 日	農場実習 京都11	京都農場
	8日 日	農業技術 11	オンライン
	8日 日	農業技術 12	オンライン
	22日 日	農業経営 7	オンライン
	22日 日	農業経営 8	オンライン
	28日 土	農場実習 大阪12	大阪農場
	29日 日	農場実習 京都12	京都農場
2021年9月	5日 日	農業技術 13	オンライン
	5日 日	農業技術 14	オンライン
	11日 土	農場実習 大阪13	大阪農場
	12日 日	農場実習 京都13	京都農場
	18日 土	農場実習 大阪14	大阪農場
	19日 日	農場実習 京都14	京都農場
2021年10月	16日 土	農場実習 稲刈り 15	大阪農場
	24日 日	農業経営 9	オンライン
	24日 日	農業経営 10	オンライン
	30日 土	農場実習 大阪16	大阪農場
	31日 日	農場実習 京都16	京都農場
2021年11月	7日 日	農業技術 15	オンライン
	7日 日	農業技術 16	オンライン
	13日 土	農場実習 大阪17	大阪農場
	14日 日	農場実習 京都17	京都農場
	21日 日	特別講義	オンライン
	28日 日	農業経営 11	オンライン
	28日 日	農業経営 12	オンライン
2021年12月	4日 土	農場実習 大阪18	大阪農場
	5日 日	農場実習 京都18	京都農場
	11日 土	日本農業技術検定2級	会場
	18日 土	農場実習 大阪19	大阪農場
	19日 日	農場実習 京都19	京都農場
	26日 日	農業経営 13	オンライン
	26日 日	農業経営 14	オンライン
2022年1月	16日 日	農業経営 15	オンライン
	16日 日	農業経営 16	オンライン
	22日 土	農場実習 大阪20	大阪農場
	23日 日	農場実習 京都20	京都農場
	30日 日	農業技術 17	オンライン
	30日 日	農業技術 18	オンライン
2022年2月	5日 土	修了式	未定

※日本農業技術検定の試験日については、開催日時が発表され次第、学校より団体受検日のご案内をさせていただきます。
 ※年間開講カリキュラム・スケジュールは定期的に見直されるため、やむを得ず、変更を行う場合があります。

8. 出願方法

1) 入学申込

アグリイノベーション大学校への入学につきましては、下記の手順に従ってお申込ください。

①出願のお手続き（インターネットからお申込もしくは願書を郵送）

公式WEBサイト「入学申込」から、申込みフォームで必要事項を入力ください。 <https://agri-innovation.jp>

※インターネットの入学申込以外の方は、入学願書を説明会等の会場で事務局にご提出頂くか、郵送にてご送付ください。

〈宛先〉 関東校 〒108-0073 東京都港区三田二丁目14番5号フロイントウ三田508号室

関西校 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1F

（株）マイファーム 「アグリイノベーション大学校 事務局」宛

②入学金及び受講料のお支払い

事務局より入学金及び受講料のお支払いについてご案内いたします。

お支払い方法は、下記よりお選びいただけます。

1：クレジットカード払い（一括）

ご利用可能なクレジットカードの種類はVisa／Mastercard／Cedyna／Diners Cardとなります。

2：クレジットカード払い（分割）

分割回数は、お客様ご自身で設定いただきます。お支払い回数は、カード会社により異なる場合があります。

なお、お客様がご利用になるクレジットカードのご契約内容により、カード会社への分割手数料が発生することがあります。（分割に係る弊社への事務手数料は発生いたしません）

3：銀行振込（一括）

銀行振込の手数料はお客様負担となります。

4：ローン支払い（分割）

支払い回数は2～24回から選択。分割払いの手数料は分割回数によって利率が異なります。

利用にはSMBCファイナンスサービス株式会社所定の審査がございます。審査の結果はご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。ローン対象は受講料のみとなります。（入学金、テキスト代金等は対象外）

※基礎課程受講生では、入学後7ヵ月以降の受講料については一部返金を行っておりますが、ローン支払いをご利用の受講生は解約を申し出ても返金できませんのでご了承ください。

上記「①出願のお手続き」と「②入学金および受講料のお支払い」が完了し、本校が当該申し込みを承諾した後、入学お申込が完了となります。受講規約を必ずご確認の上、お申込ください。

2) 入学生オリエンテーション

より学びを効果的にしていただくため、入学生オリエンテーションを設けております。

入学生オリエンテーションでは、受講規約や、受講に関する学習ツール等についてご説明するほか、個別の入学面談（入学理由・キャリア相談など）を設けております。できる限り、入学式前にご参加いただくようお願いしております。

日時 入学申込フォームより日程をご選択ください。

場所 マイファーム 事務局オフィスまたは実習農場またはオンライン

※日程により、オリエンテーション会場を変更とさせていただきます場合がございます。

持ち物 筆記用具（ボールペン）、スマートフォンもしくはモバイルPC

※受講生お一人ずつをサポートしていくため、名簿管理用のお写真を撮影させていただきます。ご了承ください。

9. 学費サポート・補助制度

本校では、受講料のお支払いにつきまして補助制度を設けています。（割引価格はすべて税別となります）

受講料割引制度

1. 家族割引

ご家族でご受講いただく場合、2人目以降の受講料は**10%**割引となります。例えば、ご夫婦やご兄弟でご受講された場合に適用となります。（※）

2. 法人割引

同法人で**2名以上**ご受講いただく場合、2人目以降の受講料は**10%**割引となります。（※）

（※）割引について

- ・同一の銀行口座またはクレジットカードからの支払いに限ります。（教育訓練給付金受給希望者は例外）
- ・受講料の異なるコースをお申しいただいた場合、受講料の低い方のコースに適用されます。

教育訓練給付制度

農学部 基礎課程アグリスタンダードコース・アグリビジネスコースは、厚生労働省の教育訓練給付制度の指定講座となっております。詳細は厚生労働省ホームページならびに本学ホームページの「教育訓練給付制度」の案内をご確認ください。

教育訓練給付制度（一般教育訓練）とは、受講料の**20%**までが、国から支給される制度です。（上限**10万円**）

※教育訓練給付制度を利用する場合、全講義**3分の2**以上の出席および日本農業技術検定**2級**合格（受講期間中に限る）が修了認定要件に含まれます。

※アグリチャレンジコース及びオンライン通信コースは、一般教育訓練給付金対象講座ではございませんのでご注意ください。

若手応援奨学金（給付型）

アグリイノベーション大学校を運営する株式会社マイファームは、新たな担い手が農業への挑戦をスタートすることを応援するために独自の奨学金（給付型）を設けています。奨学金（給付型）の応募用紙は本校公式**WEB**サイトよりダウンロードの上、事務局までお送りください。

10. 教育訓練給付制度について

教育訓練給付制度対象：農学部 基礎課程 アグリスタンダードコース・アグリビジネスコース

**教育訓練給付制度（一般教育訓練）とは、
受講料の20%まで（上限10万円）が国から支給される制度です。**

国の定める対象要件と、アグリイノベーション大学校の修了要件を満たした場合のみ対象となります。
※各年度、本校の講座が指定されなかった場合は、受給できませんので予めご了承ください。

教育訓練給付金は、「働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とし、教育訓練受講に支払った費用の一部が支給されるものです。（厚生労働省HPより）」

受講を通じて、再就職・転職を目指す方はもちろん、現在お勤めの企業でのキャリアアップを目指す場合も当てはまります。対象者の方が、指定講座を受講し修了した場合、本人が支払った教育訓練経費の20%（上限10万円）に相当する額が給付金としてハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

【対象要件】

雇用保険の被保険者期間が3年以上の方

※初回に限り、被保険者期間1年以上の方

※2回目以降は被保険者期間3年以上かつ給付金受給後3年以上経過した方

アグリイノベーション大学校の「農学部 基礎課程アグリスタンダードコース・アグリビジネスコース」は、2018年10月以降、厚生労働省教育訓練給付金（一般教育訓練）に指定された講座です。対象年度も当講座が指定された場合、受講生は受給申請することができます。

※アグリチャレンジコース及びオンライン通信コースは対象外となります。

本校ではカリキュラム内容の改善に伴い、一般教育訓練の再指定に関する手続きを行っております。指定可否の結果が通知され次第、入学生及び入学希望者へご案内いたします。

【注意事項】

- ・本校の講座が指定されなかった場合は、受給できませんので予めご了承ください。
- ・勤務先から補助がある場合には、その金額を差引いた額が教育訓練経費となります。
- ・ご本人名義のクレジットカード・銀行口座からお支払いになった場合のみ、教育訓練給付制度を利用することができます。
- ・奨学金制度の利用や入学料の割引など、対象講座の受講に付随して割引や特典を受けた場合には、その金額を差引いた額が教育訓練経費となります。

11. 開講場所 実習農場

関東 実習農場

横浜農場

神奈川県横浜市泉区下飯田町1787-2

アクセス／相鉄線「ゆめが丘駅」より徒歩13分、地下鉄ブルーライン「下飯田駅」より徒歩14分

※公共交通機関もしくはお車でお越しいただけます。

千葉農場

千葉県白井市復329-1

アクセス／北総鉄道「白井駅」からちばレインボーバス（白井線）乗車「池の上小学校」停留所 下車徒歩8分

※公共交通機関もしくはお車でお越しいただけます。

埼玉農場

アクセス／大宮駅西口より西武バス1番乗り場 ららぽーと富士見行／馬宮団地行／所沢駅東口行 バス乗車、
「飯田新田」停留所 下車3分

※公共交通機関もしくはお車でお越しいただけます。

関西 実習農場

京都農場

京都府城陽市寺田南堤下20

アクセス／近鉄「寺田駅」より徒歩20分、JR・各線「京都駅」より車で30分

※農場の駐車場をご利用いただけます。

大阪農場

大阪府富田林市須賀2丁目2-21

アクセス／南海電鉄南海高野線「滝谷駅」より徒歩5分

※駐車場はありませんので、お近くのパーキングをご利用ください。

12. 受講規約

アグリイノベーション大学校（以下、本校という）は、株式会社マイファーム（以下、弊社という）が企画・運営し、提供する教育サービスです。

本校の受講に関し、以下の通り受講規約（以下、本規約という）を定めます。

受講申込みにあたっては、本規約をご確認いただき、必ず、ご承諾の上、お申込ください。受講申込みの時点で、本規約の内容を承諾いただいているものとみなします。

第1条 （目的）

本校は、主に農業分野への参入を目指す受講生に対し、農業技術および農業経営への知識・理解を深める機会を提供すると共に、農業界を牽引する人材の育成を目的に設立されたものです。

第2条 （規約の適用）

1. 本規約は、本校が提供する教育プログラム（以下、本プログラムという）の一切に対し、適用します。
但し、本校が法令に反せず、受講生の不利益にならない範囲で、書面により特約を締結した場合には、その特約が優先します。
2. 弊社は、次の各号すべての要件を満たし、本規約を承諾の上、弊社の指定する手続きに基づいて受講申込みを行い、弊社が申込みを承認した個人の方を、受講生とします。
 - (1) 受講申込みの時点で、本規約の違反等により本プログラムの受講を停止されていないこと
 - (2) 受講申込み以前に、本規約の違反等により退学処分を受けたことがないこと
3. 本プログラムの募集要項に定める、プログラムが開講する期間を、受講期間といいます。

第3条 （受講申込み）

1. 受講申込みにあたっては、アグリイノベーション大学校のウェブサイト内、入学申込みフォームへの必要事項の記入と提出、もしくは入学願書の提出を以て本校が当該申込みを承諾し、かつ申込者からの所定の受講料および入学金や入学時必要費用のお支払いが完了したことを確認できた時点で、本プログラムの受講に関する契約（以下、受講契約という）が成立するものとし、受講生として本プログラムの提供を受けることが可能となります。
受講申込み手続きは、本規約の内容を理解の上、本規約に定める各条項に承認および同意いただけない場合には、申込みをすることができません。
2. 前項の形式によらず、別途契約書を締結する場合は、当該契約書に弊社および申込者の双方が署名又は記名押印し、受講料および入学金のお支払い手続きが完了し、申込み者からの入金を確認できた時点で、受講契約が成立するものとします。
なお、当該契約書と本規約の内容が異なる場合は、当該契約書の内容が優先するものとします。
3. 受講申込みを行った方が、次の各号いずれかに該当することが判明した場合、本プログラムの受講をご遠慮いただく場合がございます。
 - (1) 第2条2項の各号に定めた受講生の要件を満たしていないことが判明した場合
 - (2) 受講申込み時に届け出の内容に、虚偽もしくは著しく不正確な内容が含まれていることが判明した場合
 - (3) 受講生が未成年者である等の理由により、本プログラムへの受講申込みについて法定代理人の同意が必要な場合に、その同意がない場合
 - (4) 受講生の申込みを承諾することで、本プログラムの運営に支障をきたす恐れがあると弊社が判断した場合
 - (5) 当該受講生の反社会的又は不当な行為等により、他の受講生の心身状態に危険を及ぼす恐れがある等の理由で、本プログラムの受講が不適切であると弊社が判断した場合
 - (6) その他、合理的な事由により、本プログラムの受講が不適切であると弊社が判断した場合
4. 受講申込みの時点で、受講生となる方が未成年である場合、保護者の方の同意が必要となります。所定の書面によって同意の表明をいただく必要がありますので、本校事務局までお問い合わせください。



第4条 （受講料）

1. 受講料は、受講するプログラムの募集要項により定めます。
2. 受講料には、以下の費用が含まれます。

(1)本プログラムの受講料

(2)その他、本校が受講料に含まれていると明示する関連サービス

なお、受講料に含まれていることを明示しない費用については、受講生の負担となります。

3. 受講料には、以下の費用は含まれません。

(1)本プログラム受講のために必要となる交通費、宿泊費、そのほか個別の経費

(2)本校が実施主体ではないプログラムやサービスの料金

(3)受講料およびその他の費用の振込手数料

4. 受講料の支払い方法については、受講するプログラムの募集要項により定めます。

なお、支払いにあたっては、金融機関または別途弊社の定める支払条件に従うものとします。

5. 受講生と金融機関の間で、受講料その他の債務を巡って紛争が発生した場合、当該当事者間で解決するものとし、弊社は一切の責任を負わないものとします。

第5条 （受講生による解約）

1. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコースの各種コース受講生は、病気その他やむを得ない理由で退学を希望する場合、本校所定の退学届に記入し、退学理由の確認できる証明書等を添付の上、以下に定める取消料金を支払うことにより、受講の途中であっても受講契約を解約することが可能です。

2. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコースの各種コース受講生は、入学後6ヵ月間の受講料については解約しても返金はいたしません。入学後7ヵ月以降の受講料については、受講生からの解約の申し出と月末までの退学届提出を以て、既に受講生から収受した受講料から、以下に定める取消料金を控除した残金を返金します。なお、受講生の負担となる費用は、本校への支払いを完了している、いないに関わらず発生します。本校より未請求または受講生から未払いの段階での解除の場合、差額を請求いたします。

取消料金

(1)受講料を受講期間の月数で按分した額に、在籍した月数を乗じた額（以下、提供済受講料という）

(2)受講料から提供済受講料を減じた金額の20%に相当する額

3. 在籍した月数を算定するにあたっては、解約の申し出を行った月を最終月とし、受講期間が開始した月からの月数とします。日割では算出しません。

4. 受講について、入学式14日前までの解約にあたっては、事務手数料2万円（税別）のみ請求いたします。既に受講料を収受している場合は、事務手数料を差し引いた残金を返金します。

5. オンライン通信コースについては、受講途中の解約について返金はいたしません。

6. 受講契約の締結後は、入学金、テキスト代金の返金はいたしません。

7. SMBCファイナンスサービス株式会社による学費ローンをご利用し受講される場合、受講途中の解約について返金はいたしません。

第6条 （弊社による契約解除）

1. 受講生が、次の各号いずれか一つでも該当する場合、弊社は催告のうえ、本規約に基づく受講契約を解除することができるものとし、退学除名処分となります。

(1) 受講申込みをした方が実在しない場合

(2) 本校の運営を妨害した場合

(3) 本校の承諾なしに、ネットワーク的販売の勧誘、先物取引の勧誘等を含む、金銭対価を発生する取引の勧誘を行った場合

(4) 本校の承諾なしに、弊社と同等または類似のサービス、ビジネスの勧誘を行った場合

(5) 本校の承諾なしに、宗教団体や政治団体への誘致・勧誘を行った場合

(6) 指定の期日までに受講料が支払われない場合

(7) 本校の承諾なしに、受講生以外にプログラムに関連する資料等を貸与または譲渡した場合、または媒体を問わず複製した場合

(8) 他の受講生からクレームがあり、弊社がそのクレームの妥当性を認めた場合

(9) 本人またはその所属先が、暴力団、暴力団構成員、準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標榜ゴロ、特殊知能暴力集団、またはその他の反社会的勢力である場合

(10) 本規約のいずれかに違反した場合

(11) その他合理的な事由により、弊社が受講生として不適当と判断する場合

2. 前項に従って参加資格が取り消された受講生は、当該時点で発生している受講の料金その他の債務等、弊社に対して負担する債務の一切を一括して履行するものとし、既に収受した受講料その他一切の費用の払い戻しは行いません。

第7条 (受講に関わるオンラインサービス)

受講生は、本規約及び「個人情報保護方針」に同意の上で、本校オンラインサービスを利用するものとします。

1. アカウント情報の登録

受講生は、本規約に同意した上でアカウント情報(登録された情報及びアカウントに関する全ての権利、権益を含みます。以下同様)の登録を行い、登録したアカウント情報を使用して、本校オンラインサービスを利用することができるものとします。なお、アカウント情報が不正確又は虚偽であるために受講生に損害が発生しても、本校及び弊社は一切責任を負わないものとし、受講生はこれに同意するものとします。

受講生が登録したアカウント情報で利用可能な個別サービスの追加及びその他の変更については、弊社が任意に行うことができるものとし、受講生はこれに同意します。

これらの変更に関する情報は、弊社から、受講生に対し、サービス提供画面により通知されるものとし、それにより受講生はこれを認知するものとします。

受講生は、自己のアカウント情報を、いかなる目的でも、第三者に対して、譲渡、貸与、使用等させることはできないものとします。

2. アカウントの管理等

受講生は、アカウント情報を自己の責任と権限において管理するものとし、弊社は、登録したアカウント情報によって本校オンラインサービスが利用された場合、当該アカウント情報を登録した受講生本人による利用とみなすものとします。第三者によりアカウント情報が不正に使用され、受講生に損害が発生した場合であっても、当該アカウント情報を登録した受講生本人がその全ての責任を負うものとします。

3. 個人情報の取扱い

受講生によるアカウント情報の登録、登録したアカウント情報に基づく各個別サービスの利用に際して本校が取得する個人情報の取扱いについては、「個人情報保護方針」の内容に従うものとします。

4. 権利の帰属

本校オンラインサービス上にあるコンテンツ(以下、本コンテンツ)は、著作権をはじめとした知的財産権を有し、各法令及び国際法によって保護されています。本規約に基づく許諾は、本コンテンツの使用について許諾する、いわば使用権に関する許諾であり、本コンテンツの著作権は本規約の同意に拘わらず、引き続き弊社に帰属します。また本コンテンツはアップロードされた日より本校の定める公開期間終了月末で削除されます。

5. 禁止事項

受講生が本校オンラインサービスを利用される場合、次の各号に掲げる禁止事項は十分ご留意の上、遵守頂くものとします。

(1)本コンテンツの使用及び本規約に基づく許諾は、1.で定義した正規の受講生一名、または一法人に限ります。第三者に転売、譲渡、貸与等することはできません。オークション、国外販売等も禁じます。

(2)不正使用・海賊版等を助長・ほう助する恐れのある使用方法や行為はできません。

(3)公序良俗に反する目的での使用、法律に反する使用、名誉毀損に関わる恐れのある使用はできません。

(4)商品化(販売用のBlu-ray DiscやDVD等の商品やデジタルコンテンツなど)及び出版物(付属DVDや電子書籍含む)にはご使用できません。

(5)業務用もしくは民生用を問わず、複数人での視聴にあたる使用・配信をすることはできません。

前項に含まれる項目の違反を発見・発覚した場合、弊社から即座に違約金として通常の利用料金の10倍に相当する額を請求させていただきます。

6. 弊社の対応

受講生による本規約への違反を確認した場合、弊社は自社の判断により、受講生に対する事前の告知なく、受講生が登録したアカウント情報の削除、書き込みの削除を含む弊社が適切であると判断する一切の対応を行い、受講生はこれに同意します。

受講生は、弊社による書き込みの削除、受講生が登録したアカウント情報の削除を含む一切の対応について、弊社に対して異議を唱えないことに同意します。

7. 免責事項

弊社は、本校オンラインサービスに掲載される情報の正確性、合法性、道徳性、最新性、適切性等について何ら保証するものではありません。

8. 本校オンラインサービスの変更および終了

弊社は、弊社の都合により、提供するサービスの内容を変更し又は提供を終了することができます。弊社がサービスの提供を終了する場合、弊社は原則として受講生に対して、事前に通知又は公表します。

9. 一般条項

本利用規約に定める条項の一部が強行法規への抵触その他の理由により無効とされた場合であっても、当該無効とされた条項以外の他の条項は有効に存続するものとします。この場合、当該無効とされた条項は、当初に意図された経済的目的が可能な限り達成できる有効な条項に当然に置き換えられるものとし、受講生は予め同意するものとします。

受講生は、弊社の書面による事前の同意なく、本利用規約上の地位又は本利用規約に基づく権利若しくは義務につき、第三者に対し、譲渡、移転、担保設定、その他の処分をすることができません。

本利用規約は、日本法を準拠法とし、同法に基づいて解釈されます。本利用規約及び受講生による本校オンラインサービスの利用に起因又は関連して生じた一切の紛争・問題については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第8条 （受講生情報の登録）

1. 本校は、受講契約を締結した時点より、本校の定めるデータベース上に当該受講生の受講生登録を行います。
2. 本校は、受講期間を満了した時点より、本校の定めるデータベース上に当該受講生を修了生として登録いたします。
3. 受講生および修了生として登録された個人情報、弊社のプライバシーポリシーに基づき、適正な管理を行います。
4. 受講生は、本校に届け出た連絡先等の情報（以下「登録情報」という）に変更があった場合には、本校事務局へ変更の連絡を行うものとします。
5. 登録情報の不備や、変更手続きを行わなかった等の理由により、受講生が本プログラムの提供および附帯サービスの利用を十分に実現できなかった場合においても、本校は責任を負わないものとします。

第9条 （契約内容の変更）

1. 本校は、本校のシラバスに基づき、適切なプログラムの提供を行うよう努めますが、天候や講師の事情により代理の講師による講義、あるいは、日時・場所・内容等の変更をやむなく行う場合がございます。
2. 予定していた講師が、法令、公序良俗、慣例に違反したことにより、講義が遅延または中止になる場合がございます。
3. 開講にあたり本校が定める最少催行人数に達しなかった場合、あるいは、プログラムの開講に支障をきたすやむを得ない事由がある場合には、当該プログラムの閉講もしくは開講の延期を行う場合がございます。閉講もしくは開講前に長期延期が決定した場合、本校が既に受講生から収受した受講料および入学金については全額を返金いたします。

第10条 （休学）

1. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコース受講生は、やむを得ない事由により受講の継続が困難となった場合、休学手続きを行うことができます。本校所定の方法により、休学の手続きを行います。
2. 休学する受講生は、休学の申し出を行った時点より、**18**ヵ月以内の復学が認められます。
3. ビジネスコース・スタンダードコース・チャレンジコース受講生が休学する場合は、受講料の支払いは継続され、既に収受した受講料は返金いたしません。
4. 復学する時点で、休学したプログラム内容および受講料が変更となっている場合、新しいプログラムおよび受講料にて復学することとなります。
5. 休学中はオンラインサービスの利用含め受講サポートは一時利用停止とします。

第11条 （講義の欠席および振替）

1. オンライン講義はアーカイブにて後日視聴頂けますので、振替はございません。
2. 農場における実習講義については、原則翌年度の振替受講をお断りしています。欠席する場合、受講期間中の当該日程のみ、他会場での受講が可能となりますので、本校事務局までお申し出ください。

第12条 （受講生情報の利用）

1. 受講生および修了生は、本プログラムの受講を通じて、本校が知り得た受講生情報を、本校が次の各号に定める利用目的のため、必要な範囲内で収集・取得し、当該利用目的の範囲内で利用することについて、予めこれに同意するものとします。
 - (1) 第11条における受講生の資格要件の確認を行うため
 - (2) 本プログラムの提供にあたって、運営上必要な事項を受講生に通知するため
 - (3) 本プログラムに付随するセミナー・研修会・イベント等（パートナー企業・団体に置けるものを含む）、本校およびパートナーのサービスに関する情報提供を行うため
 - (4) 本プログラムの改善に資するアンケート等の実施および検証を行うため
 - (5) 卒業後の進路情報等、本プログラムに付随するサービスに関する情報提供のため
 - (6) 受講生および修了生の交流を目的とした情報提供のため
2. 前項に定める目的のほか、本校が、予め利用目的を明示して受講生の承諾を得た上で当該利用目的の範囲内で受講生情報を収集・取得する場合がございます。その場合、本校は、予め明示した利用目的の範囲内において受講生情報の利用を行います。
3. 受講生および修了生から、情報提供の中止についての申し入れがあった場合、本プログラムの提供に支障が生じる場合を除いて、本校は求めに応じた、案内物の送付停止等の措置をとるものとします。

第13条 （修了要件）

本校は、その定めるところにより、所定の課程の修了要件を満たした者に修了を認め、修了証書を発行する。

第14条 （権利の帰属）

1. 本プログラムにおいて提供される、著作権、その他の知的財産は、全て弊社に帰属するものとし、無断利用は固くお断りします。
2. 受講生および修了生が、テキスト、文書、様式など、本講座において弊社から提供されるあらゆる形のコンテンツの一部または全部を、弊社の許可なく、複製・転用・販売などの二次利用することを固く禁じます。
3. 本プログラムの受講にあたって知り得た、講師、メンター、および他の受講生の、技術、営業、会計、その他事業に関する秘密情報に関して、当人の許可なく、発表、公開、漏洩、利用することは固くお断りします。
4. 本プログラムの受講にあたって、受講生および修了生が、他の受講生が実行ないし企画する事業について、助言および協力をおこなった場合、有体物、無体物の別にかかわらず、その利用権は、すべて当該事業を発案した者に帰属するものとします。

第15条 （免責事項）

1. 本校は、次の各号に該当する事項およびその事項によって受講生に生じた損害については責任を負いません。
 - (1) 受講生の主観的事由に基づき、学習プログラムに参加しない場合
 - (2) 本校が管理できない事由、または、予定していたプログラムの講師が法令、公序良俗、慣例に違反したことにより、授業が遅延または中止となった場合
 - (3) 各種交通機関のスケジュールの変更、改正、その他の事由により、予定していたプログラムの日程、その他の内容がやむを得ず変更となった場合
2. 本プログラムの受講にあたって、受講生および修了生が、第三者に対して損害を与えた場合、当該受講生および修了生は、自己の責任と費用をもって解決するものとします。
3. 本プログラムの受講にあたって、ケガなど、受講生の身体に損害を負った場合、原則は受講生の自費にて治療にあたるものとします。但し、本校の重過失が認められる場合においては、この限りではありません。
4. 本プログラムの受講にあたって、所持品については当該個人の責任をもって管理することとし、盗難等の発生にあたっては、当該受講生および修了生自ら解決するものとします。
5. 次の各号に該当する事項の正確性・完全性・有用性について、本校は保証をするものではなく、万一、これに基づいて受講生および修了生が損害を受けた場合でも、本校は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - (1) 講師および補助者が提供する数字、景況判断、予測、意見、助言、診断等の情報
 - (2) 教科書及び参考資料に含まれる数値、景況判断、予測、意見、助言、診断等の情報
 - (3) 他の受講生が提供する数値、景況判断、予測、意見、助言、診断等の情報
 - (4) 前各号の情報には、個人の氏名、役職及び略歴、団体の名称及び活動内容、住所、電話番号、ファクシミリ番号、URL、電子メールアドレスを含みます。

第16条 （本規約の変更）

弊社は、受講生への事前の通知をもって、本規約を変更することができるものとします。

以上

附則

1. この規約は、平成29年5月10日より適用する。
2. この規約の一部を改訂し、平成30年3月17日から実施する。
3. この規約の一部を改訂し、令和元年11月1日から実施する。
4. この規約の一部を改訂し、令和2年4月20日から実施する。
5. この規約の一部を改訂し、令和3年1月1日から実施する。

「自産自消」のできる社会へ



運営会社

- 【社名】 株式会社マイファーム（英名：MYFARM Inc.）
- 【代表者】 西辻 一真（にしつじ かずま）
- 【創業】 2007年9月26日
- 【資本金】 1億円（資本準備金218,853,116円）
- 【主要株主】 株式会社ツムラ、株式会社マイナビ、DCMホールディングス株式会社、SBテクノロジー株式会社、カーコンビニ倶楽部株式会社、前田工織株式会社、東京センチュリー株式会社、ベルグアース株式会社、株式会社富山、株式会社ナンバ、株式会社喜代村、全国農業協同組合連合会など
- 【京都本社】 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1F
- 【東京オフィス】 〒108-0073 東京都港区三田二丁目14番5号フロイントゥ三田508号室
- 【社員数】 社員49名 アルバイト113名（子会社・関連会社含む／2019年6月末）
- 【受賞歴】 2017年3月 平成29年度未来につながる持続可能な農業支援コンクール 有機農業・環境保全型農業部門 受賞（アグリイノベーション大学校）
2017年1月 平成28年度・総務省「ふるさとづくり大賞」総務大臣賞 受賞
2013年7月 日本河川協会・第15回 日本水大賞グランプリ 受賞
2010年1月 環境省・総務省等主催 eco japan cup2009ビジネス部門大賞 受賞
- 【事業内容】 耕作放棄地の再生及び収益化事業／体験農園事業（貸し農園、情報誌の発行）／農業教育事業（社会人向け新規就農学校、農業経営塾）／農産物生産事業および企業参入サポート／流通販売事業（農産物の中間流通・通信販売）

アグリイノベーション大学校事務局

京都オフィス / 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1F

東京オフィス / 〒108-0073 東京都港区三田二丁目14-5 フロイントゥ三田508号室

TEL: 0120-975-257（営業時間 / 10:00～17:00 ※水・日・祝を除く）

事務局直通 [関東校] 050-3450-1080 [関西校] 050-3450-0229（営業時間 / 10:00～17:00 ※水・日・祝を除く）

MAIL: info@agri-innovation.jp

URL: <https://agri-innovation.jp/>